

令和4年度

# 事業計画書・収支予算書

令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

## 令和4年度 事業計画

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟 (JAO) は、昭和47年の設立以来、全国のアマチュアオーケストラとその活動に携わる人々を支援する事業を推進してまいりました。

JAOの主な事業には、「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」(略称 JAO フェス)、「高円宮殿下メモリアル日本マスターズオーケストラキャンプ」(略称 MOC)、「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」(略称 TYOC)、「トヨタコミュニティコンサート」(略称 TCC) 等があります。これらのどの事業も、「音の泉の広がり」を合言葉に、全国の仲間たちが演奏する喜びを分かち合いながら、各地のアマチュアオーケストラの振興を通じて、地域社会に貢献し、音楽文化の発展に寄与するものとなっています。

また、青少年から中高年齢層までの幅広い世代を対象とした JAO の事業は、青少年教育や、シニア世代のゆとりや生き甲斐づくりに貢献し、生涯学習社会の形成に寄与することを特色としています。

令和3年度はこれらの事業の内、「JAO フェス」の実施は中止せざるを得ず、また第22回 MOC も最終日の演奏会を無観客で開催するなど、少なからずコロナ禍の影響を受けた1年となりました。

しかし、令和4年度にあつてはコロナ感染症の収束を見込み、従来同様の事業の実施を計画しております。

令和4年度に実施する事業の計画は以下のとおりです。

### I. 運営の部

#### 1. 理事会

- ① 令和4年度第1回通常理事会 令和4年4月23日(土) 於 上野精養軒
- ② 令和4年度第2回通常理事会 令和5年2月25日(土) 於 上野精養軒

#### 2. 社員総会

令和4年度定時社員総会 令和4年5月28日(土) 於 上野精養軒

### II. 事業の部

#### 1. 全国アマチュアオーケストラフェスティバルの開催

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は、JAO 設立の翌年(昭和48年)の豊橋大会を皮切りに、毎年全国各地を巡り開催しております JAO の主要事業です。

オーケストラ音楽を愛好する人々が集い、3日間の日程の中で演奏技術の研鑽を積み、フェスティバルオーケストラとして演奏会を開催するほか、オーケストラ運営に資するためのフォーラムや研究討議等を行います。

また、JAO はフェスティバルを国際交流の場とすることにも取り組み、海外参加者を集いアジアフェスティバルや世界フェスティバルとしての開催実績を積んでおります。

<令和4年度実施計画>

名称	第50回全国アマチュアオーケストラフェスティバル静岡大会
期間	令和4年9月2日(金)～9月4日(日)
会場	静岡県コンベンション・アーツ・センター「グランシップ」・海
内容	<p>①フェスティバルコンサート(9月4日)</p> <p>・【フェスティバルオーケストラ】</p> <p>指揮：広上淳一</p> <p>コンサートマスター：西本幸弘 (仙台フィル・九州交響楽団コンサートマスター)</p> <p>曲目：塩見康史 作曲/シンフォニエッタ 「ミレニアム・プレリュード」(JAO委嘱作品)初演 R.シュトラウス 作曲/アルプス交響曲</p> <p>②運営協議会 JAO事業及び加盟団体の運営等に関する会議を開催</p> <p>③国際交流</p> <p>a 「ドイツアマチュアオーケストラ連盟」(BDLO)及びアジア諸国から参加者(演奏者)を招聘し、これまで同様に国際交流を図る。</p> <p>b 「世界アマチュアオーケストラフォーラム」(仮称、9月3日午後)</p> <p>・「NPO法人世界アマチュアオーケストラ連盟」(NPO-WFAO)が各国からアマチュアオーケストラ活動の推進者を招聘し開催する同会議を支援する。代表者によるプレゼンテーションとパネルディスカッションにより、青少年育成・シニア世代のオーケストラ活動や社会貢献、将来ヴィジョンについて意見交換を行う。</p> <p>・発表者、パネラーはケニア、コロンビア、南アジア(複数の国から構成)、ヨーロッパ連盟、及び日本の代表者(以上 予定)</p>

## 2. マスターズオーケストラキャンプの開催

平成12年に第1回を開催した「高円宮殿下メモリアル 日本マスターズオーケストラキャンプ」(MOC)は、当初はシニア世代が交流を深めながら演奏技術を向上させるための研修会として開催してまいりましたが、第12回より年齢による制限をはずし、各オーケストラの現リーダーや、次世代を担うリーダーを養成することもMOCの重要な役割となりました。

第2回MOCにご来臨くださいました当時のJAO総裁 故 高円宮殿下は、MOCに格別のご関心を示されておりました。MOCの前途に大きな期待を抱かれていた殿下のご遺志を尊重し、MOCの名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠しております。

<令和4年度実施計画>

名称	高円宮殿下メモリアル第23回日本マスターズオーケストラキャンプ
期間	令和5年1月7日(土)～9日(月・祝)
会場	京都府立府民ホール アルティ
内容	講師：井野邊大輔(ヴィオラ・アンサンブル指導)、 三又治彦(ヴァイオリン)、栗辻 聡(指揮) (以上予定) 曲目：ヴォーン・ウィリアムズ作曲 ／「トマス・タリスの主題による幻想曲」 ブリテン作曲／「シンプル・シンフォニー」 他 (以上予定) ※1月9日に「初春コンサート」を開催

3. 青少年オーケストラキャンプの開催

「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」(TYOC)は、全国から集まった青少年が「自分たち自身の手による運営」をモットーに演奏技術を学ぶ合宿研修会です。現在は2年を1期とし、2年目には「日本青少年交響楽団特別演奏会」として成果を発表しています。次代を担う青少年が、プロの演奏家として第一線で活躍している講師陣の指導のもと、音楽技術の向上を図り、各自の所属するオーケストラの未来のリーダーとなるべき資質を養います。

昭和60年の第1回から昨年度の第38回まで、TYOCから巣立った青少年は延べ6,100名を超え、我が国のアマチュアオーケストラの中核を担う人材として全国各地で活躍中です。

<令和4年度実施計画>

名称	第39回トヨタ青少年オーケストラキャンプ
期間	令和5年3月26日(日)～29日(水)
会場	島根県松江市 「島根県民会館」
内容	指揮：現田茂夫(予定) 講師：三浦章宏(Vn 東京フィル) 他16名 曲目：未定 ※第39回は第18期の1年目にあたり練習及びプレコンサートの開催を予定する他、開催地へ貢献する活動として「トヨタ楽器の友だち大集合」の開催を予定。

4. 国民文化祭への参加・協力

昭和62年から開催されております国民文化祭「オーケストラの祭典」に対して、JAOは積極的に会員団体からの参加を呼びかけています。

令和4年度は、「美ら島おきなわ文化祭2022」にて11月20日(日)に開催される「合唱とオーケストラの祭典」へ協力してまいります。

<令和4年度実施計画>

名称	美ら島おきなわ文化祭 2022「合唱とオーケストラの祭典」
日時	令和4年11月20日(日)
会場	アイム・ユニバースてだこホール 大ホール
内容	沖縄県内外で活躍する指揮者と、県出身または在住のソリスト、及び全国から募集した一般演奏者を中心とする150人程度の合同演奏 曲目：ヘンデル作曲／「メサイア」抜粋 指揮：高宮城 徹夫 ソロ：大山美雪（ソプラノ）、樋渡かおり（アルト）、 喜納 和（テノール）、伊良波良真（バリトン）（以上予定）

5. トヨタコミュニティコンサートの開催支援

「トヨタコミュニティコンサート」(TCC)は、“音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること”を目的に、トヨタ自動車株式会社並びに各地域のトヨタ販売会社グループと連携し、JAO加盟のオーケストラの公演を支援して開催される演奏会で、公演回数は昭和56年の第1回開催から1751回を数えます。

令和3年度よりリニューアルしたTCCの開催方式は次のとおりです。

A 企画提案コース①・・・三枝音楽監督提案型

三枝音楽監督が企画するコンサートにチャレンジするコース

B 企画提案コース②・・・JAO提案型

JAOが提案する指揮者・ソリスト等と共演するコース

C 自由裁量コース・・・アマチュアオーケストラ起案の自由公演

重点テーマ(SDGs)に沿った企画によるコンサートを開催するコース

D 販売店コース・・・販売店起案の地域での公演

地域のトヨタ販売店からの起案により、対象地域のアマチュアオーケストラが協力してコンサートを実施するコース

上記の内、令和4年度は「B 企画提案コース②JAO提案型（本年度は指揮者に秋山和慶氏を招聘）」の2公演と、「C 自由裁量コース」の39公演、及び詳細は未定ですが「D 販売店コース」13公演の開催が決定しております。

## 6. ホームページを活用した広報活動の推進

JAO は、活動方針、年間事業、全国各地のオーケストラの活動状況、国際交流事業等、広範囲にわたる情報を収集し、ホームページにて提供しています。国内の地域活動はもちろんのこと、世界のアマチュアオーケストラに関するホームページにもリンクしています。

令和 4 年度も、会員及び提携する団体等からの情報収集に積極的に取り組み、収集した情報をホームページや Facebook、新たに開設予定の YouTube チャンネルにて随時広く一般に提供してまいります。

## 7. 国際交流活動の推進

JAO は、平成 10 年の「世界アマチュアオーケストラ連盟」(WFAO) 結成において中心的な役割を果たし、世界各国のアマチュアオーケストラの活動と交流を幅広く支援する組織として平成 19 年に設立された「認定 NPO 法人世界アマチュアオーケストラ連盟」(NPO-WFAO) と積極的に提携し、国際交流活動を推進しております。

令和 2 年度以降、コロナ禍により海外との往来が規制されたため、計画した国際交流活動は実現できませんでしたが、令和 4 年度は規制緩和の状況に応じて、NPO-WFAO との連携による「第 50 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル静岡大会」期間中の「世界アマチュアオーケストラフォーラム (仮称)」の開催や、例年同様にアジア諸国との交流や、「ドイツアマチュアオーケストラ連盟 (BDLO)」と JAO との提携による交流事業を推進してまいります。

## 8. 「JAO ミュージックライブラリー」の運用開始

令和 3 年 11 月の「トヨタミュージックライブラリー」の終了にあたり、JAO はトヨタ自動車株式会社よりライブラリーを引継ぎ、令和 4 年 2 月より新たに「JAO ミュージックライブラリー」として運用を開始しました。オーケストラ活動には欠かせない「楽譜」の無料レンタルにより、アマチュアオーケストラへの支援活動をより一層充実したものといたします。

以上

令和4年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

収支予算書（正味財産増減計算ベース）

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単価：円）

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
（1）経常収益				
① 基本財産運用益	10,000	3,000	7,000	
基本財産受取利息	10,000	3,000	7,000	定期預金利息
② 受取入会金	30,000	30,000	0	
受取入会金	30,000	30,000	0	新規1会員
③ 受取会費	8,350,000	8,300,000	50,000	
正会員受取会費	6,600,000	6,550,000	50,000	132会員
賛助会員受取会費	1,750,000	1,750,000	0	18会員
④ 事業収益	16,100,000	7,680,000	8,420,000	
公1事業収益	16,100,000	7,680,000	8,420,000	入場料・参加料・広告料
⑤ 受取補助金等	21,000,000	14,253,000	6,747,000	
受取地方公共団体補助金	5,000,000	500,000	4,500,000	
受取民間助成金	16,000,000	13,753,000	2,247,000	
⑥ 受取寄付金等	9,000,000	7,000,000	2,000,000	
受取寄付金	7,000,000	7,000,000	0	
受取寄付金振替額	2,000,000	0	2,000,000	
⑦ 雑収益	180,000	102	179,898	
受取利息	0	102	▲102	
雑収益	180,000	0	180,000	懇親会費
経常収益計	54,670,000	37,266,102	17,403,898	
（2）経常費用				
① 事業費	51,500,000	35,277,739	16,222,261	
役員報酬	2,880,000	2,880,000	0	
給料手当	4,320,000	3,840,000	480,000	
臨時雇用賃金	330,000	180,000	150,000	
法定福利費	1,070,000	710,000	360,000	
福利厚生費	6,150,000	1,000,000	5,150,000	
会議費	460,000	432,234	27,766	
旅費交通費	10,930,000	8,993,376	1,936,624	
通信運搬費	1,350,000	792,566	557,434	
消耗品費	1,180,000	2,273,201	▲1,093,201	
印刷製本費	1,510,000	490,260	1,019,740	
光熱水料費	130,000	525,260	▲395,260	
賃借料	11,840,000	3,370,408	8,469,592	
保険料	150,000	50,000	100,000	
諸謝金	7,030,000	5,601,637	1,428,363	
広報費	1,800,000	3,748,500	▲1,948,500	
雑費	370,000	390,297	▲20,297	

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減	備 考
② 管理費	6,050,000	3,980,000	2,070,000	
役員報酬	720,000	720,000	0	
給料手当	1,080,000	960,000	120,000	
法定福利費	250,000	180,000	70,000	
福利厚生費	250,000	67,000	183,000	
会議費	700,000	0	700,000	
旅費交通費	1,200,000	24,000	1,176,000	
通信運搬費	200,000	320,000	▲120,000	
消耗品費	100,000	140,000	▲40,000	
印刷製本費	210,000	210,000	0	2022年度版JAO関係資料
光熱水料費	35,000	33,000	2,000	
賃借料	700,000	700,000	0	
保険料	5,000	6,000	▲1,000	
租税公課	100,000	80,000	20,000	
雑費	500,000	540,000	▲40,000	
経常費用計	57,550,000	39,257,739	18,292,261	
当期経常増減額	▲2,880,000	▲1,991,637	▲888,363	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
基本財産預金取崩振替額	10,000,000	0	10,000,000	
経常外収益計	10,000,000	0	10,000,000	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	10,000,000	0	10,000,000	
当期一般正味財産増減額	7,120,000	▲1,991,637	9,111,637	
一般正味財産期首残高	5,469,652	7,986,359	▲2,516,707	
一般正味財産期末残高	12,589,652	5,994,722	6,594,930	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	▲12,000,000		▲12,000,000	
当期指定正味財産増減額	▲12,000,000	0	▲12,000,000	
指定正味財産期首残高	46,400,000	46,400,000	0	
指定正味財産期末残高	34,400,000	46,400,000	▲12,000,000	
III 正味財産期末残高	46,989,652	52,394,722	▲5,405,070	



令和4年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

収支予算書内訳表（正味財産増減計算ベース）

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単価：円）

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	10,000	0	10,000
基本財産受取利息	10,000	0	10,000
② 受取入会金	0	30,000	30,000
受取入会金		30,000	30,000
③ 受取会費	0	8,350,000	8,350,000
正会員受取会費		6,600,000	6,600,000
賛助会員受取会費		1,750,000	1,750,000
④ 事業収益	16,100,000	0	16,100,000
事業収益	16,100,000		16,100,000
⑤ 受取補助金等	21,000,000	0	21,000,000
受取地方公共団体補助金	5,000,000		5,000,000
受取民間助成金	16,000,000		16,000,000
⑥ 受取寄付金等	9,000,000	0	9,000,000
受取寄付金	7,000,000		7,000,000
受取寄付金振替額	2,000,000		2,000,000
⑦ 雑収益	0	180,000	180,000
雑収益	0	180,000	180,000
経常収益計	46,110,000	8,560,000	54,670,000
(2) 経常費用			
① 事業費	51,500,000		51,500,000
役員報酬	2,880,000		2,880,000
給料手当	4,320,000		4,320,000
臨時雇用賃金	330,000		330,000
法定福利費	1,070,000		1,070,000
福利厚生費	6,150,000		6,150,000
会議費	460,000		460,000
旅費交通費	10,930,000		10,930,000
通信運搬費	1,350,000		1,350,000
消耗品費	1,180,000		1,180,000
印刷製本費	1,510,000		1,510,000
光熱水料費	130,000		130,000
賃借料	11,840,000		11,840,000
保険料	150,000		150,000
諸謝金	7,030,000		7,030,000
広報費	1,800,000		1,800,000
雑費	370,000		370,000

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
② 管理費		6,050,000	6,050,000
役員報酬		720,000	720,000
給料手当		1,080,000	1,080,000
法定福利費		250,000	250,000
福利厚生費		250,000	250,000
会議費		700,000	700,000
旅費交通費		1,200,000	1,200,000
通信運搬費		200,000	200,000
消耗品費		100,000	100,000
印刷製本費		210,000	210,000
光熱水料費		35,000	35,000
賃借料		700,000	700,000
保険料		5,000	5,000
租税公課		100,000	100,000
雑費		500,000	500,000
経常費用計	51,500,000	6,050,000	57,550,000
当期経常増減額	▲5,390,000	2,510,000	▲2,880,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
基本財産預金取崩振替額	10,000,000		10,000,000
経常外収益計	10,000,000	0	10,000,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	10,000,000	0	10,000,000
当期一般正味財産増減額	4,610,000	2,510,000	7,120,000
一般正味財産期首残高	▲3,672,858	9,142,510	5,469,652
一般正味財産期末残高	937,142	11,652,510	12,589,652
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	▲12,000,000		▲12,000,000
当期指定正味財産増減額	▲12,000,000		▲12,000,000
指定正味財産期首残高	46,400,000		46,400,000
指定正味財産期末残高	34,400,000		34,400,000
III 正味財産期末残高	35,337,142	11,652,510	46,989,652